

笑顔で働き続けられる職場を作ろう!

全医労第51回女性集会 in 大塚

— 10/17~18 全国から142名が参加 —

全医労女性集会は、10月17日~18日、全医労本部がある東京・大塚で3会場（ラパスホール・ホテルベルクラシック東京・新全医労会館）を使って開催しました。

集会には、全国から142名の参加者があり2日間にわたる集会に楽しく、元気に参加しました。集会の議長は東海北陸地方協会の林・中国地方協会の弘津両女性部長が明るく元気に進行をしました。



記念講演は「怒れ！看護師！職場から『夜勤改善・増員署名』目標達成を！」と題して、日本医労連の山田委員長に講演していただきました。請願署名とは？私たちが集めた署名はどのように扱われるのか？これまでの看護闘争とその中で署名はどんな役割を果たしたのか？夜勤規制はなぜ必要か？などスライドを使って分かりやすく話していただきました。

続く基調報告では中丸女性部長より、いくつかの事例も紹介しながら「組合員の要求をきちんと汲み上げられる組織体制に」「職場要求改善の取り組みを職場で見える活動にし、仲間を増やす。組織拡大しよう」と強調しました。

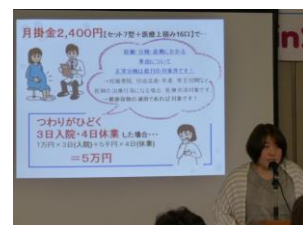


今年の女性集会では2つの支部から特別報告をしていただきました。

一つは「犀潟支部の夜勤点検活動の成果」です。支部では、毎月の夜勤点検委員会による客観的なデータは執行委員会で問題点を共有し、窓口や安全衛生委員会、団体交渉で活用し問題解決しています。

もう一つは、「医療事故の対応についての報告」です。「医療事故が起こったら、支部として何ができるか。これまでの医療事故報告で『当事者を一人にしない』ということが頭の片隅にあった。何ができるということはないが、不安に思っている当事者に寄り添うことを心掛けた。そうして仲間を守ることは職場を守ることであり、支部が無我夢中で取り組んだことが、その後の組織拡大につながった」という報告は、感動的で参加者の多くは涙しながら聞いていました。

最後に「医労連共済の活用」で組織拡大しようと医労連共済事務局の桶谷書記から詳しく話していただきました。当日は豊橋支部から、まさに医労連共済で拡大した加入届を持参して参加していました。（…にもかかわらず、集会の中で発言のチャンスを作ることができず申し訳ありませんでした）



夜の交流会はホテルベルクラシックで各地方協の紹介、本部から「クイズに答えて景品をもらっちゃおう！」などで和気あいあいとした時間を過ごすことができました。結婚式場にも使われているホールは素敵な雰囲気でした。実際に娘さんが結婚式を挙げた、という方もいらっしゃいました。



2日目は、ホテルと新全医労会館に別れての分散会でした。「笑顔で働き続けられる職場を作ろう」をメインテーマに、今職場で困っていること悩んでいることを語り尽し、物言える職場にするために自分は支部に帰って何ができるか？ について語り合いました。

そして大忙し！急いでラパスホールに集合して全体集会。各分散会から感想やまとめを語っていただきました。

最後に九州地方協女性部長の東さんが「笑顔で働き続けられる職場にするために、団結してがんばろう！」と締めくくりました。

今年の女性集会は、新全医労会館が完成して初めての集会なので、ぜひ全医労会館を見学してほしいという目的もありました。

参加者の皆さんには、荷物を引いての移動や狭い会場、少ないトイレなどご不便をおかけしましたことをお詫びします。あわせて、分刻みの移動時間の中、機敏に動いていただき運営に協力していただいたことに深く感謝いたします。ありがとうございました。

